みえ市民活動・ボランティアニュース

ひろげる つなぐ かえる



2012年6月25日発行 通巻 163 号



版でいます。これまで※これから、vol.1 特定非営利活動法人サルシカ 代表理事/サルシカ隊長 奥田 裕久

下の模様は SP コードと呼ばれるバーコードで、専用の読取機で音声を聞くごと





三重県の魅力をもっと伝えていきたい 団体を設立した経緯と、地域が抱えている課題とは?

「田舎暮らしがしたい!」そんな想いを持って、5年前に神奈川県から三重県津市美里町に引っ越して来ました。しかし、実際に生活をしてみると、想像以上に田舎暮らしが大変であると共に、自然保護や過疎化といった、地域の特有の課題に直面しはじめました。

例えば、里山の問題があります。一度人の手が加わった里山は、人の手を加え続けないと自然そのものが壊れてしまうんですよ。地域の里山を守り続けながら共存してきた「里山文化」は、世界に誇ることができる文化なんです。でも、後継者問題等をはじめ、さまざまな問題があり、誇るべき文化が失われようとしている現実を知りました。さまざまな課題に直面していくうちに、自分の娘に「帰ってくることができるふるさとを残したい」「里山文化を守りたい」という強い想いが生まれました。

あと、三重県の情報が、東京や神奈川などの関東

地方に正しく伝わっていなかったことも、団体を設立したきっかけの1つです。都会には、田舎暮らしをしたいと考えている人は多いと思います。それなら三重県や津市の情報を上手く発信することで、都会の人たちから注目を集め、地域の活性化に繋げることができるのではないかと考えました。

そこで、三重県に住むことの魅力、田舎暮らしの魅力、そこに住む人の魅力、その土地の文化の魅力などの情報を正しく伝える必要性を感じ、"サルシカ"を設立しました。

「サルシカ」のたどる軌跡そのものが「コンテンツ!

田舎暮らしを伝えるために、どのような活動を行っ ているのでしょうか?

活動には3つの大きな柱があります。「遊ぶ」「ふれあう」「暮らす」の3つです。「遊ぶ」では、大の大人たちが自然の中で本気で遊ぶ姿を WEB 上に掲載しています(笑)。「こんなアホなことを真剣に楽

しむ大人が三重県にはいる。三重県の田舎暮らしって楽しそう!」と思っていただけるような情報を発信しています。私たちのそんな姿を見て「楽しそう」「参加したい」と県内外からボランティアに来る人がいます。そこで「ふれあう」機会を増やして、地域の活性化につなげたいと思っています。

1つの例ですが、以前に美里でツリーハウスを作るイベントを行いました。その時、ツリーハウスを作ることを WEB に掲載したところ、100 人以上の仲間たちがボランティアとして駆けつけてくれたんですよ。わざわざ、高速を使って山形から来ていただいた方もいました(笑)。その方とは今でも交流が続いています。

三重県出身で海外在住の方が、サルシカのホームページを見てファンになり、直接メールをいただいたこともあります。

最後の「暮らす」ですが、「遊ぶ」「ふれあう」といった活動に賛同してくれた方に、いずれは三重県に移住していただきたいという長期的な目標です。

このように、企画の開始から終了までのすべてを、 ブログやホームページで公開することは重要な活動 です。サルシカのたどる軌跡そのものを、1つのコ ンテンツとして楽しんでいただければ嬉しいですね。

サルシカでは他に、「ゲンキ3(さん)ネット」という情報サイトの運営も行っています。このサイトは、県内各地で活動されている団体同士の横のつながりをつくると共に、団体からいただいた情報を広く発信していくことを目的に、2011年7月からスタートしています。



電柱設置のようす。 サルシカ隊員の技術と知恵が活動の幅を広げる

仲間たちと楽しみながら地域のための活動を行っていきたい

これから地域のために行おうと思っていることは何ですか?

現在進めている活動に「美里プロジェクト」というものがあります。美里は「辰水神社のジャンボー支」など面白い取り組みを活発に行っていますが、地域の利益につながる仕組みになりにくい側面もあります。

美里は山や川の幸に恵まれています。それらを活かした飲食店や特産品の販売など、利益を得る方法は必ずあると思っています。恩返しの意味でも、地域の方と話し合い、ニーズを探りながら、時間をかけて「美里プロジェクト」を成功させていきたいですね。

「遊び」の展望もあります。地元の休耕田を使って田植えをし、「サルシカ米」の収穫を計画しています(笑)。自分たちが食べるものを、自分たちの土地で作って食べる。すごくワクワクしませんか?地元の自然が育んだ食材を使って調理ができるオープンキッチンを設けて、誰もが気軽に立ち寄れる拠点を作ることも考えています。

拠点造りといえば、譲っていただいたトレーラーハウスを「大人の秘密基地」として使えるように作業を進めています。内装や電気等の工事は、仲間たちが駆けつけて手伝ってくれています。「面白そうなことをやろう」と思ったときに、すぐに仲間たちが駆けつけてくれる。この気持ちが本当に嬉しいですね。

これらの企画や事業を、自分の頭と体を使い、仲間たちと工夫しながら、自分たちの力で実施していくことを大切にしたいと思っています。

私たちがやろうとしていることは簡単なことではありませんが、「こんな風にやったら楽しいだろうなぁ」と思っていることを実行していたら、いつの間にかうまくいっていたというところでしょうか(笑)。

これからも、仲間たちでわいわい遊んで、楽しみ ながら地域のための活動を行っていきたいですね。

DATA

特定非営利活動法人サルシカ

住 所 〒 514-0834 三重県津市大倉 13-26

E - m a i l info-mail@salsica.com ホームページ http://www.salsica.

http://www.salsica.com/ http://genki3.net/(ゲンキ3ネット)

代 表 者 代表理事/サルシカ隊長 奥田 裕久

団体設立年月日 平成 20 年 2 月 18 日 NPO法人化年月日 平成 20 年 4 月 25 日

会員数 10人サルシカ隊員数 310人

助成金情報 圖まちづくり 帰 市民活動 過 福祉 🌄 環境 🔊 情報化 😪 国際

■ まちづくり 🙀 市民活動

「第 13 回 中部の未来創造大賞」募集

受付期間 7月31日(火)当日消印有効

対象団体 愛知・岐阜・三重・静岡・長野の各県において、幅広い分野で地域づくりに取り組まれている皆さま

- ①住民部門…個人や NPO などの民間団体、一般住民
- ②企業・学校部門…企業、学校、公益法人など
- ③行政部門…国および地方公共団体・公団・公社など

対象活動 1) 住民、企業・学校、行政等が工夫して取り組んでいる地域づくりの活動で、以下に該当するもの

- ・生活・自然環境の保全を行っているもの
- ・景観の向上を行っているもの
- ・観光資源として活用されているもの
- ・地域づくりに関連した情報発信を行っているもの
- ・資源の再利用を行っているもの
- ・公共施設の整備にあたって、コスト縮減等に有効な 新技術、新工法の研究開発を行っているもの
- 2) 災害時の人命救助、復旧作業や防災に関する活動 3) 伝統的な建造物の保存、復興などを行っている活動
- 表彰 大 賞…賞状、盾、賞金10万円(1件) 優秀賞…賞状、賞金5万円(3件程度) 特別賞…中部経済連合会賞、中日新聞社賞
- 応募方法 HPより応募用紙をダウンロードし必要事項を記入の上、事務局宛に送付。
- 問合せ先 中部の未来創造大賞推進協議会事務局 〒460-8575 名古屋市中区丸の内三丁目5番10号 住友商事丸の内ビル8階(社)中部建設協会 業務部 Tel 052-962-9086 Fax 052-962-9083

HP http://www.cbr.mlit.go.jp/kikaku/mirai/index.htm

2 福祉

みずほ福祉助成財団 社会福祉助成金募集

受付期間 7月31日(火) 必着

対象団体 原則として、1年以上継続した活動実績のある社会 福祉法人、非営利法人、任意団体、ボランティアグループ、小規模作業所等または研究グループ (5人以上で構成)。

対象活動 障害児者の福祉向上を目的とする事業および研究 で、先駆的・開拓的事業および研究を優先(但し、研究助成についてはソーシャルワークに関する研究も可とする)。

助成金0額 総額 3,000 万円。

助成額は事業 (研究) 総額の 90%以内で、下記の金額を限度とする。

- ①事業助成…15万円以上、100万円を上限
- ②研究助成…100万円を上限

本等が法 HPより申込書をダウンロードし必要事項を記入の上、指定の書類を添付して事務局宛に郵送。尚、研究助成のうち、(社) 日本社会福祉教育学校連盟加盟校は、直接同連盟宛に郵送。 ※詳細は HP 参照

間合せ先 (公財) みずほ福祉助成財団 事務局

〒100-8333 東京都千代田区丸の内 2-5-1 丸の内二丁目ビル

Tel 03-3201-2442 Fax 03-5252-8660

BOL00683@nifty.com

http://homepage3.nifty.com/mizuhofukushi/pdf/index.html

₩ 環境

大成建設自然·歷史環境基金 2012 年度助成金募集

受付期間 7月31日(火) 必着

対象団体 国内に拠点を置き、自然環境または歴史環境の保全・保存および活用のために、市民活動や研究を行う営利を目的としない団体等で、会則に基づき適正な運営、会計処理、情報公開を行っていることを要件とする。

対象活動 国内ならびに開発途上国の自然環境の保全・活用または歴史的建造物等の保存・活用にかかわる活動または研究。

驗益0額 総額 1,500 万円程度、助成件数 20 件程度。

応募方法 HPより助成金申請書をダウンロードし必要事項を記入の上、事務局宛て郵送。

※詳細は HP 参照

問合せ先 みずほ信託銀行株式会社 個人営業推進部 福祉信託係 『公益信託 大成建設自然・歴史環境基金』事務局 〒103-8670 東京都中央区八重洲 1-2-1 Tel 03-3274-9210 Fax 03-3274-9504

osamu_kato@mizuho-tb.co.jp

HP http://www.taisei.co.jp/about_us/society/kikin/html/gist.html

₩ 環境

公益財団法人日野自動車グリーンファンド

受付期間 7月31日(火) 当日消印有効

対象団体 以下の条件を満たす団体・グループ・個人等

- ①活動の基盤が日本国内であること
- ②団体の場合、原則として設立2年以上を経過しており活動実績があること
- ③日本語での応募であること

対象活動 1) 自然環境保全に資する樹木や草花の植樹の実施

- 2) 自然環境保全活動の実施
- 3) 自然環境保全に資する調査や研究の実施
- 4) 自然環境保全に資する教育や諸啓発活動の実施

勵益0額 総額 750 万円程度 (予定)

応募方法 HPより助成金申請書 (手書き用またはデータ入力 用) をダウンロードし、必要事項を記入の上、事務局 宛て郵送。

問合せ先 (公財) 日野自動車グリーンファンド 事務局 〒 191-8660 東京都日野市日野台 3-1-1 Tel 042-586-5369 Fax 042-586-5222

HP http://www.hino-global.com/j/csr/greenfund/ promotion.html

三重県 NPO 法人活動実態調査報告 1

Ι 調査の概要

平成 23 年度、特定非営利活動法人みえ NPO ネットワークセンターでは、三重県からの委託を受け、三重県内の NPO 法人を対象にした 「三重県 NPO 法人活動実態調査」を行いました。ご協力くださいました三重県内の NPO 法人の皆さま、ありがとうございました。

このたび、「三重県 NPO 法人活動実態調査」の報告書が完成いたしましたので、報告書に掲載されている調査結果からいくつかを抜粋し、毎号掲載していきたいと思います。

今月号は、調査の概要についてご紹介いたします。

→ 調査の目的

県内の NPO 法人が自立した活動をするために必要な支援等を把握するため、三重県が NPO 法人の活動実態や課題等に関して調査する企画を募集し、採択された事業を提案者に委託して実施しました。この調査の結果は、平成 24 年度に策定予定の「新しい公共推進指針(仮称)」や、今後の施策展開の基礎資料として活用していきます。

調査対象

平成 23 年 3 月現在における三重県内すべての NPO 法人 561 団体 (内訳)

- ・三重県所轄法人 549 = 554 (平成 23 年 3 月末法人数) -5 (平成 23 年 9 月末までに解散した法人数)
- ・内閣府所轄法人 12

受託団体および調査の方法

【受託団体】特定非営利活動法人 みえ NPO ネットワークセンター 【調査の方法】

- ①アンケート調査 平成 23年10月21日 アンケート用紙郵送
- ②訪問 (ヒアリング) 調査 平成 23 年 11 月~平成 24 年 2 月 アンケート用紙回収と補足ヒアリング

調査状況·回答率

三重県内すべての NPO 法人への訪問調査を行ったことから、80.6% という高い回答率を得ることができました。また、調査拒否等による調査困難な団体が 9.8%、連絡が全く取れない団体が 9.6% ありました。

各地域の対象団体数、回答率などは、『三重県 NPO 法人活動実態調査報告書』をお読みいただくか、三重県環境生活部 男女共同参画・NPO 課 NPO グループ内の「三重県NPO法人活動実態調査事業」のページをご覧ください。調査結果も、ご覧いただくことができます。

http://www.pref.mie.lg.jp/NPO/jittai.htm

次号は、「NPO 法人の設立と現状」から抜粋したものを掲載する予定です。

⋒ 情報化 ₩ 国際

KDDI財団

B

B

D

D

社会的・文化的諸活動助成

受付期間 7月20日(金)~8月3日(金) 必着

対象情報化社会の動向に即し、情報通信を通じて社会、教育、環境等の課題解決に貢献する各種の非営利団体(NPO)・非政府組織(NGO)の活動、「草の根」活動。地域社会の国際化(特にアジア太平洋地域)につながる各種の活動、情報通信を通じて社会に貢献する各種の文化事業、情報通信の普及・発展あるいは国際間の相互理解促進に寄与する活動や事業など(たとえば、イベント、講演会、ボランティア活動)。

助絵の額 1件あたり100万円を上限とし、10件程度。

応募が法 HPより所定の申込書をダウンロードし、以下の通り2部を提出。

1 部:電子媒体 (EXCEL ブックをメール添付、要パスワード設定、捺印不要)

1部:署名・捺印の上、郵送(宅配可)

※詳細は HP 参照

間合せ先 (公財) KDDI 財団 助成業務部 〒113-0021 東京都文京区本駒込 2-28-8

文京グリーンコートセンターオフィス 7 階

※問合せは E-mail で

▽ grant@kddi-foundation.or.jp (吉田)

HP http://www.kddi-foundation.or.jp/support/social/ ※調査研究助成、国際会議開催助成も同時募集中

■ E-mail HP ホームページ

NPOから寄せられた募集とご案内

女性のための"防災"講座

anan 編集長が伝える 〜もしものときに、あなたを 守ってくれる知恵とモノ〜

東日本大震災後、雑誌『anan』編集部が一冊の本「女性のための防災BOOK」を出版しました。出版のきっかけや女性だからこそ必要な防災知識、取材時のエピソードなど、「本当に役立つこと」を是非聞いてください!

I anan』編集長 熊井昌広さん I anan』編集者 中島千恵さん

□ 時 7月11日(水)19:00~21:00

対象 どなたでも

参加費 無料

募集人数 200名(託児20名)※申込み先着順

郵便、Fax、E-mail のいずれ かで、「女性のための防災講座 申込」と明記し、代表者氏名・ Tel·E-mail・参加人数を連絡。

応募締切 7月4日(水)必着

主 催 三重県伊勢県民センター

無 催 三重県男女共同参画・NPO 課、伊勢市

画合せ先 三重県伊勢県民センター 地域・防災課 〒 516-8566 伊勢市勢田町 628-2

> Tel 0596-27-5115 Fax 0596-27-5251

ikenmin@pref.mie.jp

http://www.pref.mie.lg.jp/ TOPICS/2012050121.htm

川づくり会議みえ

「総会&記念講演会」

川づくり会議みえでは第10回総会に合わせて、三重県立博物館館長の布谷知夫さんをお招きして記念講演会「博物館の使い方」を開催します。あなたも、ぜひご参加ください。

日時 7月7日(土) 総会14:45。

総会 14:45~15:15 講演 15:30~16:50

場 所 アスト津 4 階 「研修室 A |

対象 会員および一般の方

嗲咖費 100円(資料代)※申込不要

間合せ先 川づくり会議みえ

Tel 090-5637-0727(久世) Fax 0598-42-8078 kuze2 @ bronze.ocn.ne.jp

HP http://kawamie.iinaa.net/

悩みを分かち合いませんか もうやめよう!独りで悩むこと!!

ひきこもり、うつ、気分障害(パニック・ 摂食・強迫性・社交不安障害)など の当事者や、支える方々の心の悩み を分かち合える居場所づくりの提供。 笑いヨガも交えて実施中!

日時 7月13日、8月10日、 9月14日(すべて金曜) 10:00~12:00

場所・亀山市市民協働センター「みらい」

対象 心が元気でない方 (心の傷、 不安、トラウマ)

参加費 500円 ※申込不要

問合せ先 サロンド"トゥルービューティー" Tel 090-6083-3683(福井)

乳がん体験者の会あけぼの会

三重支部 20 周年記念講演会 「乳がんになっても負けない!」 「乳がんになったけれど、負けないで生きる強い心を持つために」

【バグパイプ演奏】「アメイジング・グレイス他」 小川和美さん

【挨 拶】ワット隆子(あけぼの会会長) 【講 演 I】「乳がんと診断されたら」 三重大学附属病院乳腺センター教授 小川朋子先生

【講演II】「乳がんの最新の薬物治療について」 埼玉医科大病院臨床内科教授

佐々木康綱先生

【パルディスカッション】パネラー/乳がん体験者 2人と上記の先生方

※医療用下着の展示もあります。

□ 時 7月15日(日)12:50~16:30

場 所 伊勢市観光文化会館 4 階大会議室

対 * 乳がん体験者の方、その家族、 医療関係者、学生さんならど なたでも

参加費 500円 (会場受付にて)※要申込み

間合せ、乳がん体験者の会あけぼの会 (三重支部) Tel 090-2944-4773(小野)

Fax 0596-25-3426

komich_ak60@yahoo.co.jp

7月度定例会

経営塾『流汗悟道塾』

5月1日から平成25年4月30日の 1年間でスケジューリングされた三重 県初の経営塾『流汗悟道塾』7月度 定例会のご案内です。今回はさまざ まな著書や講演で著名な「人と経営研 究所 所長 大久保寛司氏」をお招きし 講演していただきます。テーマは『人 が輝く組織づくり』です。

□ 時 7月23日(月) 13:30~16:30

場所 じばさん三重 4階 視聴覚室 (四日市市安島 1-3-18)

対象 会員、一般、学生

参加費 会員無料

一般 5,000 円、学生 2,000 円

間合せ先 (特活) サンライズ. 魂 Tel 059-333-3871 (下小薗) Fax 059-333-3671

tamasii@tamasii.jp

http://www.tamasii.jp/

チャリティ講演会 & コンサート

子どもたちのいのち まもるために

福島第一原発の事故で被曝した子どもたちのいのちを守るためには、汚染地からひきはなすことがベストと長年のチェルノブイリ救援を通して体験しています。このたび沖縄久米島に子どもたちの保養所を作りました。その維持運営のためのチャリティです。チェルノブイリで被曝した歌手ナターシャ・グジーが民族楽器バンドゥーラと水晶の歌声に乗せて思いを伝えます。

広河隆一さんによる講演 「私たちには 子どもを守る義務がある」も同時開催。

□ 時 7月29日(日) 13:30~16:15

場 所 津センターパレス 5階ホール

対 * どなたでも (音楽・講演を聴ける年齢)

● 一般前売り 2,000円(当日3,000円) 高校生以下、障がい者で座席の必 要な方は500円(当日1,000円)

商品世先 チェルノブイリから日本を考える会・三重支部Tel 090-1239-1410 (宮西)Fax 059-229-3078

dotenoskanpo@yahoo.co.jp

~フォトジャーナリズム展三重~ 見つめよう、わたしたちの生き ている世界

国際的レベルの DAYS 大賞受賞作、豊田直巳、市民の報道写真展。

今回は東日本大震災関係の写真とともに、この地球上で起こっているさまざまな現実をとらえた写真も併せて展示。世界の「真実」を知って、それらについて考える機会にしていただきたい。



新たな社会戦略の潮流を感じさせる取り組み

シャープ株式会社三重工場 三重環境安全推進センター 宮田勝弘さん、山本理恵子さんにお話をうかがう

シャープ三重工場 (多気町) では Eco-Positive Company (事業活動による 環境負荷を大幅に上回る環境貢献を果たす企業となることを目指す) という企業ビジョン実現のためにもっと地域に貢献し、地域の方に信頼・自慢される 「環境貢献工場」を目指す、と環境方針を定め取り組んできた。2010 年度までは 環境保全活動を中心に、2011 年度からは環境の枠を超えた社会貢献活動に力点を移しており、以下のようなきめ細かな取り組みで地域に寄り添い、その関係性を強めている。

多気町内の学校を中心に保育園・小学校・中学校・高校と幅広い教育機関に学習支援活動を実施。中でも就職する比率が高い農業系の高校・生徒に基本的な環境学習を年5~6回行っており、環境教育の基礎を身につけた将来の地域を担う人材の底上げにもつながっていることは特筆に値する。ほかにもインターハイの出場経験やマスターズ陸上で県記録を持つ従業員による相可高校陸上部への指導支援を行っており、従業員の層の厚さを物語る。大台町浦谷地区(旧宮川村)では草刈りや水路掃除等、コミュニティ崩壊の危機にひんする限界集落の地域住民への支援を行っている。さらに農業従事者の高齢化や獣害による耕作放棄地の増加を防ぐため、多気町勢和地域への農地の荒廃防止と保全を行う活動支援も始めており、多岐にわたるそれらの取り組みは従来型の社会貢献を脱皮し、新たな社会戦略の潮流を感じさせる。



http://www.sharp.co.jp/corporate/eco/environment/plantreport/pdf/mie.pdf





大台町浦谷地区の支援活動 2012年6月2日(土)

日時 8月3日(金)~8月8日(水) 10:30~19:00 (最終日は17:00まで)

場 所 津センターパレス 地下 オープンステージ

対 象 どなたでも ※中高生のための写真解説シー トを用意しています。

参加費無料

豊田直巳講演会 「報道の実態〜伝えられたこと、伝えられなかったこと」

イラク・パレスチナ・サラエボ・福島 原発近辺などを取材されてきた豊田 直巳さんの講演会。被災地とそこに いる人々の状況をカメラに収め続けて おられる報道写真家のお話は明快で 迫力があり、非常に魅力的です。

写真展「世界のこどもたち」も開催。

■ 時 8月4日(土) 13:30~16:30

場 所 津センターパレス 地下 研修室

対象 どなたでも

参加費 無料

間合せ先 フォトジャーナリズム展三重 Tel & Fax 059-229-3078(眞弓)

photojurnalism_mie@yahoo. co.jp

E-mail HPホームページ

【情報を提供していただく皆様へ】

市民活動・ボランティアニュースの原稿用 フォーマットができました!掲載希望の際 は、ホームページからフォーマットをダ ウンロードしていただき、E-mail または Fax にて以下の要領でお送りください。

(1) フォーマットに必要事項を入力のうえ、毎月10日までにお送りください。
(2) F-mailは性名に「市民活動・ボラン

(2) E-mailは件名に「市民活動・ボラン ティアニュースへの掲載希望」と明 記してください。

ホームページ 原稿用フォーマットダウンロード手順

トップページから「みえ市民活動・ボランティアニュース」のボタンをクリック。「イベント情報投稿」「募集情報投稿」の2種類がありますので、掲載内容によってお選びください。「申し込みフォーム」をクリック後、出力していただくか、データをパソコンに保存してお使いください。

http://www.mienpo.net/center/

E-mail center@mienpo.net Fax 059-222-5971

転載を希望の場合は必ず「みえ県民交流センター指定管理者:みえ NPO ネットワークセンター」に連絡してください。

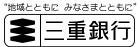


委託金、助成金等の受け取りまでの「つなぎ資金」として 最高500万円まで無担保でご融資!

対象:三重銀行の三重県下営業エリア内に主たる事務所を有するNPO法人

※ただし、当行所定の審査の結果、 ご希望に添えないことがあります。

詳しくはTEL059-354-7130 (審査部)まで URL: http://www.miebank.co.jp



NPOのための なんでも相談

これから活動を始めたい、団体の運営についての悩み、 会計帳簿のつけ方は?職員を雇う時の手続きは?助成金を とりたいけど・・・など、NPO に関するご相談に応じます。 ※抽選のため、相談日の1週間前にはお申込みください。

時】2012年7月9日(月)

> ① $13:30 \sim 14:30$ ② $14:45 \sim 15:45$ 2012年8月6日(月)

> ① 13:30 ~ 14:30 ② 14:45 ~ 15:45 ※各時間帯1団体のみとなります。

【対 象】NPO 法人設立を考えている団体や個人、 NPO・中間支援センタースタッフ、 NPO・市民活動に関心のある市民など

【相 談 員】 特定非営利活動法人みえきた市民活動センター 理事長 服部則仁

【場 所】みえ県民交流センター(アスト津3階)

【お申込み先】 みえ市民活動ボランティアセンター

tel: 059-222-5995 fax: 059-222-5971

mail:center@mienpo.net



法人格を持たない福祉系の団体が応募できる助成金は、どのよ うに探したらよいでしょうか?

助成金と一口に言ってもさまざまです。そこで、「備品が買いた いのか、人件費が必要なのか、事業に使いたいのか」「いくら必 要なのか」など、目的を明確にしてから、「対象としている団体(法 人格の有無など)」「活動分野は当てはまるか」を絞って探され るとよいでしょう。助成金情報が多数掲載されているサイトがあ るので、こまめにチェックされることをお勧めします。また、弊

【おすすめのサイト】

全国規模のさまざまな助成金情報を収集・掲載している 「NPO 法人 シーズ・市民活動を支える制度をつくる会」

センターの HP にも助成金情報を載せております。

http://www.npoweb.jp/

三重県の主に福祉向上を目的とした情報が集まる 「財団法人 三重ボランティア基金」

http://www.miewel-1.com/vkikin/index.html



県民交流センターの一角にある図書コーナーでは、NPO、協働、ボ ランティア、福祉、環境、防災など、いろいろな分野の活動に役立つ 本や資料、ビデオを貸し出しています。ぜひお立ち寄りください。

(Monthly Selection)

- ◆ 愛知県の 「NPO法人の財政・財務実態調査報告書」 発行:愛知県県民生活部 社会活動推進課 発行日: 2012年3月
- ◆ 数字で見る岡山県内 NPO 法人の状況 NPO法人経営実態把握事業報告書

発 行:岡山県

発行日: 2012年3月20日

◆ 岡山県内NPO法人の融資利用ニーズ調査報告書 岡山県新しい公共の担い手育成支援事業・融資利用円滑化支援事業

発 行 (受託者):特定非営利活動法人岡山NPOセンター

発行日: 2012年3月

- ◆ 社会貢献の仕事へインターンシップ
 - NPO・市民組織・社会事業者等へのインターンシップ 2011 報告書-

「プロボノ (スキルボランティア) の普及及び大学生等の若手人材によるNP

○等への情報開示支援インターンシップ事業報告書」

岡山県新しい公共の担い手育成支援事業・活動基盤整備事業 発 行 (受託者):特定非営利活動法人岡山NPOセンター

①認証団体名②法人事務所の所在地③活動分野④認証年月日⑤代表者

- ①特定非営利活動法人 ひまわり
- ②名張市桔梗が丘西1番町 152番地 ③保健、まちづくり、環境、子ども ④2012年5月23日

- ⑤理事長 安藤 幸弘
- ①特定非営利活動法人 手づくりファーム・奥伊賀の里
- ②名張市富貴ケ丘5番町5番地6 ③保健、まちづくり、環境、その他 ④2012年5月30日
- ⑤理事長 中筋 光一郎
- ①特定非営利活動法人 伊賀FC<ノー
- ②伊賀市土橋 61 番地
- ③まちづくり、文化、子ども、その他 ④ 2012 年 5 月 30 日
- ⑤理事長 吉森 茂雄
- ①特定非営利活動法人 和親
- ②松阪市駅部田町881番地18
- ③保健
- ④ 2012年6月6日
- ⑤理事長 柏原 敏樹

「NPOから寄せられた募集とご案内コーナー」 の原稿締切は前月10日です。 掲載希望の方は10日までに情報をデータでお送りください。(詳細 6ページ)

みえ市民活動・ボランティアニュースはこちらにあります。

【地域の市民活動センター等】〈津 市〉みえ市民活動ボランティアセンター/津市市民活動センター/三 重大学/看護大学/三重短期大学/高田短期大学 (桑名市)桑名市市民活動センター 〈いなべ市〉いな べ市市民活動センター 〈東員町〉とういんボランティア市民活動支援センター 〈四日市市〉四日市市 市民活動センター/四日市大学 (亀山市)亀山市市民協働センター (鈴鹿市)市民ネットワークすずか のぶどう/鈴鹿国際大学/鈴鹿医療科学大学 〈松阪市〉松阪市市民活動センター/三重中京大学 〈伊 勢市〉いせ市民活動センター/皇學館大学 (鳥羽市)鳥羽NPOネットワークセンター・結 (志摩市)志 摩市市民活動支援センター/横山ビジターセンター (名張市)名張市市民活動支援センター/エコリゾ ート赤目の森/名張市立図書館/名張青年会議所/名張市総合福祉センター 〈伊賀市〉伊賀市市民活動 支援センター/伊賀市立図書館/伊賀青年会議所 〈尾鷲市〉東紀州コミュニティデザイン 〈明和町〉め いわ市民活動サポートセンター 〈南伊勢町〉南伊勢町町民文化会館 〈紀宝町〉紀宝町ボランティア市

【地域の社会福祉協議会】県内の市町社会福祉協議会

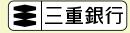
【金融機関・企業等】 百五銀行各店/第三銀行各店/三重銀行各店/東海労働金庫各店/県下JAバンク各店 /メディカル一光各調剤薬局

【行政機関等】 三重県庁県民ホール/三重県地域機関(各県民センター[桑名、四日市、鈴鹿、津、松阪、伊 勢、伊賀、尾鷲、熊野])/三重県栄町庁舎(情報公開窓口)/三重県総合医療センター/三重県立一志病院/ 三重県立志摩病院/三重県立こころの医療センター/三重県立こころの健康センター/斎宮歴史博物館/ 三重県立博物館/三重県立図書館/三重県生涯学習センター/三重県男女共同参画センター『フレンテ みえ』/三重県人権センター/三重県身体障害者総合福祉センター/三重県環境学習情報センター/三重 県鳥羽パート情報センター/三重県立熊野古道センター/各市町役場/各市町中央公民館など

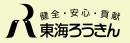
協替

みえ市民活動・ボランティアニュース発行にあたり、協 替をいただいております。

キラリと光るあなたの銀行



❷百五銀行







環境にやさしい植物油インキを使用しています。